



夏の白馬村は花盛り

JULY

平成 28 年 7 月 27 日

(第 138 号)

TEL 0261(72)2034(代表)

<http://www.nagano-c.ed.jp/hakubahs/>

HAKUBA HS
Report Channel

白馬高校レポートチャンネル

白馬高校 しろうま祭特集 7月8日(金)~10日(日)



伝統の八方太鼓

第65回白馬祭が、7月8日~10日(一般公開は9日・10日)の三日間の日程で開催されました。今月号は、しろうま祭の様子をお知らせいたします。



8日(金)は校内祭として、開祭式、運動会、前夜祭がおこなわれました。時折小雨が混じる曇り空でしたが、運動会も無事グラウンドで開催することができました。玉入れや綱引きなど、小学校の運動会のようなイベントで、生徒も職員も無条件に楽しめる内容となりました。

9日(土)は一般公開初日として、多くのイベントが開催されました。校舎では、「総合学習」の発表として、白馬、小谷の民話が紹介され、塩の道の歴史も紹介されました。生徒の手打ちそばも披露されました。Language Cafeでは、様々な言語話者をお招きして、国際色豊かなひと時を楽しんでもらいました。(下の写真は、その準備と会場の様子)



他にも、スポーツ展、弓道部による射的や、3年生合同のお化け屋敷。定番ですね。PTA・職員展、写真部による写真展や生物同好会の活動報告などが公開されました。今年は、公営塾が初めて参加して、「ほうずきサイダーとマフィン」の販売などもございました。

昇降口前では、運動部による模擬店が出店いたしました。スキー部男子では、イケメンがカレーを作って、販売しました(村男も参加しています) <右写真>。

PTAは白馬豚の串焼きを販売しました。

7月9日(土)の体育館のステージでは、合唱コンクールが開催されました。さすが3年生は、最高学年にふさわしい堂々とした合唱を聞かせていただきました。2年生、1年生も、予想以上に頑張りを見せてくれました。始業前や放課後に、練習した成果でした。



生徒会しろうま祭関係スタッフ





練習の様子
本番の様子

少しぎこちないように見えませんか？
まるでマエストロのような指揮ぶり！



名ピアニストも現れて…
最後は、全校合唱で締めくくり。



1年生は、積極的で元気な歌声を、2年生は、落ち着いた歌声で、3年生は、さすが、最高学年にふさわしい、貴祿のハーモニーを聴かせてくれました。
審査員も、審査に困るような接戦の末、最優秀賞は3年A組、優秀賞は3年B組、優良賞は1年A組でした。最後は、生徒会長の田中詠都の指揮により、全校合唱で締めくくられました。



吹奏楽部の演奏は、小谷吹奏楽団合同で

今年の、第65回しろうま祭のスローガンは、「お・も・て・な・し」。見学にお越しいただいた皆様は、「もてなされた」のでしょうか。(一般参加 505名ご来場)
ひとをもてなすということは、形で伝わるものではなく、生徒一人ひとりの、相手に対する心遣いや気配りが、来場者に気持ちとしてどう伝わったかではないでしょうか。音楽の演奏では、演奏する側と、演奏を聴く側の心が一つになったとき、感動が起こる。その瞬間に「もてなされた」という



有志の軽音楽バンドの演奏も



しろうま祭実行委員長の中島莉佳子さん。お疲れさまでした。

気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。
国際観光科開科により、県外の入学生も参加しての、初のしろうま祭となりました。地元の生徒の中にあって、八方太鼓や合唱コンクール、各発表の場で、県外生徒の活躍がありました。白馬高校に新しいDNAを迎え入れたことで、さらに活気を帯びてくるのではないかと思います。第65回しろうま祭だったように思えます。観光の原点は、「非日常体験と感動」です。ダイナミックに変化する白馬高校の息吹を感じるひと時でした。



中夜祭では、女装した白高美女軍団が登場
後夜祭は、ファイヤーストームの火を囲んで

